

2109年新港の森四季の観察会（案）

内容

県民公園「新港の森」の春夏秋冬の姿を見て樹木の不思議さを学ぶ
名前を覚えるのではなく、人と樹木の関わりを学ぶ

10時～12時、野球場WC前集合、自由参加、雨天決行

1) 4月13日（土） 「樹木たちがかわいそう？」

- 人の安全の犠牲になっています
- 造られた土と樹木
- イルミネーションと樹木
- 人気ナンバーワンの街路樹は？
- 明治神宮100年の森と新港の森

2) 6月15日（土） 「なぜ高い木と低い木があるのか？」

- 草と樹木はどちらが先に現れた？
- 「この木なんの木気になる木」はどうして枝を広げるのか？
- ケヤキの下になぜ枯れ枝が多い？
- ツルの戦略
- 木はどこまで高くなることができるのでしょうか

3) 9月14日（土） 「樹木たちの子孫を残す執念」

- 風、虫、動物、水、火事と種まき
- 花はなぜ美しい
- ツバキに匂いはあるか？
- 性転換する植物
- いろいろなかたちのタネ

4) 12月7日（土） 「樹木は自分の体は自分で守る」

- 樹木の生きる執念
- バラになぜトゲがある？
- 苦味、辛味、えぐみ、酸味と甘みを使い分ける
- 暑さ、寒さ、乾燥を耐える
- 毒をもって生きる不思議さ